

働いています。次々に糸が作られています。糸を作る材料の綿や絹を準備をする人も忙しそうです。らしき人も、おかゆの鍋をかたづけ、さっそく紡績の仕事を始めました。

らしきさん「けさは、本当に寒い朝だったね。みんな震えながら工場に入ってきたので心配したけれど、たつぷりと炊いたおかゆのおかげで、良い顔色になったわね。ほっとしたよ。私も、体がよく温まったよ。さあ、仕事、仕事。わたしもがんばりますよ。」



工場の外は冷たい雪。しかし、春のように温かい工場の中は、紡績の機械の音が、にぎやかに響いています。らしきさんは、古い紡績機械ですが、みごとに手さばきで糸をクルクル巻いています。次々に、きれいな色の糸ができていき、箱に納められていきます。(おしまい)

制作・発行 藤樹紙芝居制作委員会

脚本・挿絵 高島藤樹会教材委員会

制作委員 足立清勝・飯田典子・

石黒紀代子・北川暢子・清川貞治・

高谷美智子・山本義雄 (五十音順)

藤樹書院・良知館通信⑩

『五事を正す』のもとについて

淵田 豊朗

現代に生きる私たちが日ごろから大切にしたい藤樹先生の教えの一つです。

『物は事なり。洪範(こうはん)に謂(い)う所(ところ)の貌言視聴思の五事これなり。』

藤樹先生の『経解』という「大学」に出てくる「格物致知(格はただす、知は良知のこと)の解説にあるものです。「誰もが生まれながらに持っている良知の鏡は洪範に書かれている五事を正すことよって磨くことができる。」と続きます。

その『洪範(すべてに当てはまる規範)』は五経の一つ書経の中にあり、そこには

『貌は體(からだ)のことで「威儀のうやうやしいこと」、言は口で「へりくだり争わぬこと」、視は目で「より遠くにまで及ぶこと」、聴は耳で「物の筋目をよく聞き分けること」、思は心で「思慮の綿密なこと」である』とあって、これにより君主は民に尊敬され、国を治めることができるとされています。(國譯書経より引用)この「貌言視聴思」が私たちが使っている五事のもとだと考えら

れます。

先生は「人間の欲は悪であり、つねにそれを封じ込めなければならぬ」という朱子学を厳しすぎると感じ、新たな道を求めました。三十一歳の時です。そして、三十七歳の時に、王陽明の「心の自由を大切に自分の責任で行動する」に感銘を受け、独自の陽明学を追求しました。そして論語、大学、中庸などの解説を著し、また人々にそれを伝える中で、『貌言視聴思の五事を正す』の教えができたと考えられます。

書院内の額には

「貌：柔らかく穏やかな顔

言：温かく思いやりのあることば

視：澄んだやさしい眼ざし

聴：心をかたむけてきく

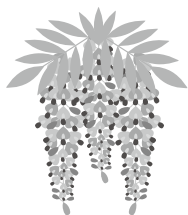
思：慈しみ思いやる心」

とあります。ただ、藤樹先生は、「五事を正す」の具体を示されてはいません。

人それぞれ、同じ人でも年齢によつてそれぞれの

「my『五事を正す』を作つて実行しなさい」

が藤樹先生の教えなのかもしれませ



賛助会員一覧

ご協力ありがとうございます。

- ウエストレイクホテル可以登楼
- 大津公証会 白髭博文
- 株式会社 大山建設
- 川島酒造 株式会社
- 株式会社 Grow's
- 株式会社 桑原組
- 有限会社 宏和商事
- 税理士法人 小畑会計事務所
- 有限会社 白浜荘
- ソエダ 株式会社
- 田中マネジメント事務所
- 株式会社 TADCOポレイション
- 鉄屋商事 株式会社
- 寺子屋まなごし童心塾
- 株式会社 戸井薬局
- とも栄 藤樹街道本店
- 中村印刷 株式会社
- 株式会社 中村測量設計
- ニツケイ工業 株式会社
- 有限会社 馬場塗装
- 保木機料 株式会社
- 有限会社 綿庄食品店

(五十音順)

あとがき

コロナウイルスの感染が一日も早く終息して、活気のある日常を取り戻せるように、自分のできることをがんばりたいです。

(H・M)